

2 津波のことを学ぼう

海や川のある地域で地震が起きた場合、津波の心配があります。少し離れているから大丈夫と思わず、注意報や警報が聞こえたらすぐに避難しましょう。

津波が起こったとき 守ること・大切なこと

津波の避難は遠くよりも高く

- 海や川のそばにいるときに地震が発生した場合や、津波注意報・警報を聞いたらすぐに高台に避難しよう。



自分の身を守る (津波てんでんこ)

- 家族のことが心配でも、まずは自分の命が優先です。
- 津波注意報・警報が解除されるまで決して家などに戻らず、津波の心配がなくなるまで高台で待機しよう。



家族で話し合おう

海水浴や釣りによくいく場所での避難場所を確認しよう。

読み物資料

津波の速さは陸上ではオリンピックの短距離選手の速さと同じです。普通の人々が走って逃げることはできません。つまり、津波が海岸にやってきたのを見てから避難しても間に合いません。



	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 10m～	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。  (10mを超える津波により木造家屋が流失)
	10m 5～10m			
	5m 3～5m			
津波警報	3m 1～3m	高い	津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」(気象庁)の1シーン	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。  豊崎町提供 (2003年)
津波注意報	1m 0.2～1m	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。 

気象庁からでている津波注意報・警報の種類